



じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

OYA OYA 通信



学びのホームグラウンド じんけん楽習塾

7月25日 外国ルーツの住民からみえる社会
～レイシャルハラスメントを考える～
文公輝（ムンゴンフィ）さん【NPO 法人多民族共生
人権教育センター】の報告



今年度6回目はレイシャルハラスメントがテーマでした。人種や民族国籍をもとにしたハラスメントを考えました。

はじめに、文さんから日本に住む外国人の概況や外国人差別の実態調査の説明がありました。現在50人に1人が外国籍住人です。また、国際結婚は29組に1組(その子どもたちは日本籍を持つ)、「帰化」も含め、日本籍を持つ外国ルーツの人は100万から300万人はいると思われます。2017年はじめて日本は国家として外国人差別の実態調査をしました。面前での差別的言動を約3割がうけたなどの回答が上がっています。〈「外国人住民調査報告書」 ネットで「法務省 外国人差別 調査」でさがせます。〉

何気ない会話のなかで…

次にワーク「レイシャルハラスメント～外国人ルーツの住民からみえる社会」をグループにわかれてしました。8つのシーン、例えば「同じ日本人だから、わかるでしょう？」に対して ①どのような部分が人種差別につながるのか ②外国人ルーツの人がどう感じるのか ③言い換えができるのであればより適切な別の表現はないか の3点で話し合いました。一見些細なことに見えるレイシャルハラスメントが人種差別行為、ヘイトスピーチの芽なのだという説明に深く納得しました。

テレビなどではよく外国人のみた～というような番組がありますが、そこに出てくる外国人はなぜか欧米人が多いように感



じます。在留外国人約250万のうち210万はアジア人です。日本を称賛する声が集められていますが、一方で研修制度のひどい扱いや差別の実態はほとんど反映されていません。日本はすごくなければ、なぜだめなのでしょうか？そのために負の部分を見ようとしていないのではとも思いました。ことさらに強調される“日本スゴイ”、そのこともレイシャルハラスメントにつながるのではと感じた回でした。

文責(李(い)ぼんみ)

★★★★★ みんなの感想 ★★★★★

- ◆ 普段の何気ない会話で、様々なレイシャルハラスメントがあることが認識できた。外国ルーツの人が増えており、相手の立場や日本人しかないという前提は変えるべきであると思う。
- ◆ 日本の在日外国人の人口が増加しているということ、日々の中で実感しています。私の勤務する三重県松阪市の小学校では全体の3割強が外国につながる子どもです。話していると保護者や子どもたちが日本に対して抱く感情や様々な生きづらさも感じます。今日は参加できて良かったです。ありがとうございます。
- ◆ 1つの考えや価値観で判断せずに広い視野を多くの視点で考えていかなければならないと思いました。
- ◆ いろいろ不快な経験がありますが…。「〇〇さんはどの国で生まれたのですか？」と同僚にいわれたことが一番驚いた。かれのまわりには在日はいるやろし、みようとしないだけなのではないか。思いを伝えたくど、いちいち傷ついたことを思い出した。
- ◆ 「実は、自分は韓国人やねん…」とか、「自分が韓国人だから鈴木さんはつらくあたってくる…」とかうちあげられたとき。そんなときに

連絡
毎回ふりかえり用紙をくばります。通信に反映させたいと思います。(公開だめなものはオープンにしません) 写真や通信は人権協会のホームページなどで使用する場合があります。なるべく個人が特定しにくいものと考えていますが、困るという方は事務局に連絡ください。急がれる方は先に退席してください。じんけん楽習塾が終わってから、簡単な懇親会を毎回予定しています。終了時に声をかけますので、参加可能な方は会場に残ってください。

「国籍なんか関係ないやん。みんな同じ人間やから」という美しい言葉と善意によって、グサリと傷つける。そんな在日島国日本人であることを忘れないことから始めていきたい。

◆職場の人の紹介ではじめて「じんけん楽習塾」に参加して、とても有意義な時間でした。実際自分自身、親が在日コリアンで、学生時に勉強した時、教師で関わっていく時に、たくさん調べたりしました。ただ、親がどんな差別を受けたのか…など知ることはありませんでした。(教えてもらえなかった) 実際、様々な差別の例を知り、つらくなりました。そこで、今つらい思いをしている子どもたちが少しでも減るように、普段の学校生活の中で、アンテナを高くもち、自分自身の言葉かけも気をつけていきたいと思いました。

◆♪おかしいやん その一言が 打開さく♪

◆自分自身がルーツがある人間として、当事者としてもこれもハラスメントにはいるのかということも出てきました。ワークでは、周りの方と意見交換もしながら、楽しんで理解を進めることができました。本日はありがとうございました。

◆ワークで考えるシチュエーションがどれもよくありがちなもので、このような状況をそのまま放置してしまうことが、ヘイトスピーチへとエスカレートする危険があるのだとよく理解できました。難しかったが適切な表現を考えるのはすごくよいことだと感じました。

◆何が差別で何が差別でないのか、いつもまよいます。後半のワークでは日常場面を検討することができて、自分のこととして考えられました。何が差別かはルールブックもなく、時と場合場面抜きでは判断できないと感じました。常に自分の見方をみがいていきたいです。こうだ！ってわかってしまうより、迷っている方がいいのか…？

◆ワークショップはやっぱり分かりやすいです。これを展示に押し込むとき、どうしたら分かりやすいか考えつづけていきたいです。

◆何気ない日常生活における会話の中に潜むレイシャルハラスメントについて様々なシチュエーションを通じてより深く考えることができたと思う。

◆初めての参加でした。文さんとは15年程前のお仕事での出会いでしたが、当時より深いお考え方や方針をお聞かせいただいてありがとうございました。今後共、よろしく願いいたします。

◆学校やつどいの広場でも外国にルーツのある人や子どもに出会うので相談できる人でありたいと思いました。ありがとうございます。



◆差別意識がなくてもレイシャルハラスメントにつながる一言を発している可能性もあるかもしれないと改めて感じた。多くの外国人ルーツの人がいるのが当たり前であるという感覚を常に持つことが大事と感じた。グループワークが楽しくできました。

◆普段何気なく会話をしているが、気づかないうちに相手を否定したり、軽視しているかもという可能性があることに気づかされた。また、レイシャルハラスメントが放置され問題視されていることで、より深いことになることに気づかされた。今後職場内で情報共有をはかっていきたい。

◆20年も前の教育実習での出来事を思い出しました。担当したクラスに鄭さんという子がいて、私は読み方がわからず「なんて読むの?」と聞いて彼女を指名しました。(座席順にあてていたので、飛ばせなかったのです)他の読みにくい名字の生徒(この子は日本人でした)から、飛ばす先生もいたと聞きました。あの時チョンさんはどんな気持ちだったんだろう…。

◆とても勉強になりました。レイシャルハラスメントについては研修を受ける機会がなかったので、とてもよい機会となりました。いろいろなことに気づかせていただきました。ありがとうございました。

◆相手の人が必ずしも自分とは同じ属性にあるものではないという感覚を常に意識して行動する事の大切さを教えて頂きました。自分では当たり前と思っている事が、立場・視点を変えればそうでない事が(ワークを含めて)理解できました。有難うございました。

◆○レイシャルハラスメントについて、ワークすることでより能動的に自分のこととして理解を深めることができたと思います。○当事者の立場に立って考えることが大事。

◆意識的、無意識的に関わらず、レイハラは行われていると感じた。とりわけ最近のメディアから流される偏重傾向にある番組が多くなっているように感じる。その事が、レイハラ意識の低下につながっていると思った。

◆日常の中でレイシャルハラスメントになっていることを改めて感じた。何気なく、そんな思いを持たない会話、行動にも相手を傷付けていることも…。今まで、あえて触れないで過ごして来たところもあるが、今後フィードバックしたい。

2018年度ルール

やさしい気持ちでお互いを尊重 / オールOK / プリーズ / リラックスすれば理加が深まる / ズッパッとOK / ずっけOK / ずっと考えても思いつかない時はパスOK / 無理をせずみんな楽しく学びましょう / ほったらかしにしない / うそいつわりはなし / 類のない時に使用 / 守秘 /